

2023.7.13

No1

ゆるいブラック企業にならば... ために.

最近読んだビジネス誌によれば、大手のホワイト企業とよばれる会社に勤めた若者でも、約8%の人に退職していくそうです。

理由は様々あるかと思いますが、注目されているのが、

「あまりにホワイト企業過ぎてしまう」事にあるそうです。

つまり、過保護にされ過ぎる。温室で育てられる事に耐えられず辞めていくのだという事です。

「誰にでも出来るような仕事」を与えられ、それをこなして残業せずに帰宅する。

これを繰り返していくだけでそれなりに昇給していくレールの上を歩み始めたが、焦りを感じて退職した。という例が増えているのだとか。

何いのも、今まで寝る時間も惜しんで勉強し、身につけた知識や技術が世の中に通用するのかわりか、試す場も与えられず、簡単な仕事しか任せてもらえない事がつまらないのでしょ。

「ストレスを感じながらもクリアしていくような「挑戦の場」が与えられないのが嫌になってしまうのだそうです。

きっと上司からすると、若者がちよと負荷をかけるだけで、すぐに潰れてしまい、精神的に病んだり、退職してしまうので、じっくり育てて行くつもりでいるのだと思います。また、我々の時代は夜を徹して働いて間に合わせる。なんて事は当り前のようでしたが、

今では残業時間を厳しく管理するよう国からの命令も受けています。努力してホワイト企業になってきたのです。

しかし、「やる気に満ちた若者」からすると、自分達も同じ会社で働いているのにまるでお客様のような扱いをされており、責任ある立場で、お客様と何か合...バリバリと働けるようにするまでに時間がかかり過ぎるので、

今の仕事を何年も続けるのは苦痛だと感じるのです。

このように若者からすると、「ゆるいブラック企業」になっているのです。

今うちの会社では中小企業でも、限りなくホワイト企業に近づこうと手を尽くしている最中です。しかし、同時に今挙げた問題は社内でも起きているかもしれません。

向上心に満ちた人が辞めて行き、なるべく同じ事を繰り返す

2023.7.13

No.2

楽な仕事を好む人ばかりに残る状況になって
しまうかもしれません。

人に合わせてしっかりと負荷をかけて成長を促す状況を作らないと、つまらない、歯応えのない、やりばいのない仕事になってしまいます。今、うちの会社は丁度一段ギアが上がるように差し掛かっています。これまでの働き方よりも少しレベルを上げ、他の加盟店並みの仕事になりつつあります。

いずれは、他の加盟店よりも良い仕事をして、良い報酬を支払える所に到達したいものです。

弊社にも、やる気に満ちた若者が大勢居る筈です。

その人たちが、「同じ繰返してつまらない」「もっと早く成長するには、ここには居られない」と思われたいようにしてあげたいです。

しっかりと鍛えて実力をつけてあげる事で、やり甲斐を感じて欲しいと思います。確かに、残業や休日出勤をいくらでも出来る時代ではなくなりましたが、休みの日に努力して仕事の知識を取り入れる若者も居るでしょう。決まった時間の中でも、密度の濃い仕事、責任の重い仕事、難易度の高い仕事にチャレンジする場を設け、背中を押してあげてください。我が子の成長を楽しみにしている親御様より預かっている大切な人達です。過保護にさせぬよう、負荷をかけて鍛えてください。

今目の前の辛さより、将来、ほうみに入社して良かったと感じてもらえるのを意識しましょう。

LEXUSで働いていた人が、別の会社に転職した際に、LEXUS時代に鍛え抜かれた接客マナーがハイレベルだった事を改めて感じたそうです。言葉遣い、アピアランス、マナー、運転の仕方まで徹底的に叩き込まれたので、体に染み込んでいるのです。転職先も一部上場の大きな会社でしたが、その上司ですら、その人に見習うレベルだったと言いますから。

LEXUSで働いていた期間に受けた教育は、貴重な財産になっているのではないのでしょうか？

私達もそのような会社になりたいものです。特に、片付け、掃除、接客マナーに関する教育は、並みの会社とは一線を画する存在でありたいもので

2023.7.13

No3

こゝは、私が柱とする「業」で世の中から期待される分野でもからかなり厳しく鍛えるべきではないでしょうか？

責任者の皆さん、「新人が辞めてしまふたら困るから…」と

営業の訓練も出来そうな事しかせず、店内の掃除や片付けも自分ばかり動いて社員をお客様扱いにしているならば、飼、殺し状態になります。

良ケ水と思いやってきた事は、実際はホワイト企業にではなく、

ゆるいブラック企業に近づいているのかもしれない。